

吉田 稔 筆

2020年1月 No.132

● 編集・発行  
柏市増尾地域ふるさと協議会  
(土地区社会福祉協議会)

〒277-0033  
柏市増尾三丁目1番1号  
増尾近隣センター内

☎ 04-7174-7211

みんな元気 住んで良かった この地域



廣幡八幡宮

写真撮影 巾康友

## あけましておめでとうございます

会長 伊藤 主夫

日頃からふるさと協議会の活動に、多大なご支援ご協力をいただきありがとうございます。

当協議会では、「敬老のつどい」「文化祭」「地域ふれあいのつどい」「新春囲碁将棋大会」「芸能発表大会」など恒例となった行事開催、「子育てサロン（増尾・加賀）」「サロンつちのこ」「サロンますのこ」「コミュニティーのこのこ」などのさまざまな年齢を対象にした、つどいの場作り、「増尾地域見守り助け合い隊」の活動、また災害時の5避難所における円滑な運営のための意見交換会を開くなど幅広く活動しています。

次年度には「サンパセオ新柏アネックス管理組合」が当協議会に加入の予定です。18 町・自治会の組織となりますので、より一層活動に力を入れていきたいと思えます。「住み慣れた地域で自分らしく暮らす」「この地域に住んで良かった」をモットーに活動を進めます。

平成30年11月に国登録有形文化財になった伊藤家住宅主屋で、「古民家サロン」の開設を目指しています。地域の方々が楽しくつどい語り合う場所になると思っています。このサロンを運営していくためには、多くの方のお力添えが必要になります。ご協力をお願いいたします。

# 令和の増尾の秋見つけた

増尾近隣センターで、「文化祭」「地域ふれあいのつどい」「環境フェア2019パネル展」を同時開催しました。

「文化祭」は11月2日(土)と3日(日)に開催し近隣センター内会場に書、絵画、手工芸、生け花、写真、陶芸などの力作や近隣の学校の生徒・児童の作品を展示。

「地域ふれあいのつどい」は11月2日(土)の1日だけ開催。駐車場に設けられた会場にはおもち、おでん、焼きそば、焼きとり、野菜などの模擬店が並び、長蛇の列ができました。他にも福祉団体のお店、喫茶コーナー、

ゲームコーナーなどがあり大いににぎわいました。

「環境フェア2019パネル展」は11月2日(土)と3日(日)、体育室で特殊詐欺や悪質商法などのパネルを展示し注意喚起を、また家庭でできる「省エネ対策」のパネルで問題提起を呼びかけました。

また、体育室では11月2日(土)に「増尾ジェンヌの会」のハンドトリートメントコーナー、3日(日)には柏市民健康づくり推進員の健康チェックコーナーを開設、関心のある方々が立ち寄っていました。 総務広報部



会場は来場者でにぎわいました (地域ふれあいのつどい)



土中生徒のもちつきと柏南高校合唱部のアカペラで盛り上がります (地域ふれあいのつどい)



増尾探検隊の手作りマップに見入る来場者 (文化祭)



静かな空気の中で柏南高校茶道部のお点前をいただきます (文化祭)



子どもたちはクリスマスリース作りに夢中 (文化祭)



健康チェックコーナーで体重測定

## 雨の中378名が来場

### 敬老のつどい

地域の74歳以上の方を対象に、令和元年9月16日(月・祝日)、土中学校体育館において、地区社協部主催「敬老のつどい」が開催され、378名が来場されました。

「オヤジダンサーズ」は、柏市生涯学習講座から生まれたダンスチームで、マイケルジャクソンのヒット曲や『U.S.A.』など見事なパフォーマンスを披露。土中学校吹奏楽部は『ムーンライトセレナーデ』などをやわらかな音色で、柏南高校吹奏楽部はピンクレディーや美空



ひばりメドレーをダイナミックに演奏してくれました。

なお、現在この地域には、4名の100歳以上の方がお住まいです。 総務広報部

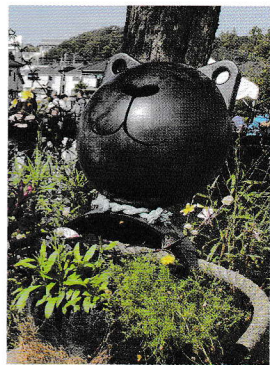
# めざせ!スーパーボランティア 防犯防災部

令和元年9月1日(日)、上尾市復興ボランティアチーム「ReVA(リーヴァ)」代表の市川富代子さんと旗頭の吉沢則雄さんを増尾近隣センターに迎えて「地域の防災力アップを目指す講座」(参加19名)を行いました。

3.11東日本大震災で復旧活動をされ、その後活動の継続を約束し合ったチームメンバーお二人の話は「災害ボランティアを始めた理由・だからがんばろうと思った」から始まり、「ボランティアの基本・心構え・装備」「こんなボランティアはNG!」など。後半は立ち位置を切り替えて被災された方に寄り添った「支援を受け入れる方たちの想い」を避難所の様子を交えながら、また「女性や子どもたちだからこそできること」を丁寧にかつ慎重にお話しくれました。

講座前には九州北部豪雨、講座後には台風15号・19号が立て続けに発生し私たちの身近に甚大な被害を及ぼしました。人を助けるには自身が無事であること!! 災害への心構えを、参加者一人一人が見直す講座になりました。

防犯防災部 間宮 節子



## “うっきー”に決定

ReVAさんが被災地から持って来てくださった浮き玉のマスコットに名前を付けてくれたのは、中原小学校6年生の椎橋有仁君。

近隣センターのペレニアルガーデンにいます。

# ちいき探検ウォーキング 文化体育部

令和元年11月24日(日)、増尾近隣センターロビーには、前日からの雨にもかかわらず、熱心な参加者が集まりました。キャンセルもあり中止か決行か迷いましたが、30分遅らせて9時半に出発しました。

ウォーキングコースを変更し、距離と時間を短縮しました。増尾近隣センター→少林寺→つばめ池→きつね山→土小学校(リニューアル工事中)→増尾ふるさと会館

→増尾近隣センターのコースを一般参加者、増尾探検隊、文化体育部員の総勢約40名で歩きました。最年少は8か月の乳児で、4歳の女兒はレインコートを着て完歩しました。到着後、配布されたほかほかの焼き芋とおにぎりに参加者は満面の笑顔でした。

初めて参加した方は7名でした。ある参加者は、長年増尾に住んでいても、意外と知らないことばかりと一言。来年の晴天を願い解散となりました。

文化体育部 高萩 郁勇



少林寺境内で相馬重胤の一石五輪塔の説  
明を受ける一行

# ニュースポーツに挑戦 文化体育部

令和元年9月22日(日)、増尾近隣センター体育室で健康教室を開催しました。昨年までは、太極拳やヨガ教室を実施してきましたが、今年はニュースポーツを取り上げてみました。参加者15名を指導していただいたのは、柏市スポーツ推進委員南部支部6名の方々です。

誰にでも気軽にできるポッチャとラダーゲッターの2種目に挑戦です。ポッチャはパラリンピックの正式種目です。目標にするソフトボール大のボールに向かって2チームでボールを投げて、より近い方が勝つ競技です。

ラダーゲッターは3段になっているはしごに向かって、両端にボールがついているひもを投げて絡みつかせる競技です。コツをつかむまで失敗して大笑いしたり、上手になって大喜びしたり。グループがひとつになって楽しんだ健康教室でした。



文化体育部

小林 みつえ

どちらのボールが近い? 判定は?

# 災害井戸を手掘りで 新柏三丁目防災会

新柏三丁目防災会は、役員と有志で新柏三丁目コミュニティガーデン予定地内に、災害用井戸を自分たちの手で掘り、完成させました。

大規模災害時の停電、断水などライフラインが停止した場合、一番困るのが生活水の確保です。柏市には給水車は4台しかなく、病院など緊急性の高い場所が優先されることになり、住民への給水は遅くなると想定されます。飲み水はペットボトルの備蓄で賄えますが、トイレ、掃除、洗濯などの生活用水が不足し、衛生面での危険性が高まります。このようなことから、地域内に災害用井戸を掘り、災害時の生活水の確保や日常でのガーデン内の草花などへの散水に利用することにしました。

当地域には、かつては飲料にも使える名戸ヶ谷湧水地があり、地下水が豊かな場所です。浅井戸なら深く掘らなくても水が出ます。今回の井戸は4.5mの深さの打ち抜き井戸で、直径10cmの塩ビ管を打ち込んでいます。水を汲み上げる手動ポンプも塩ビ管での手作りです。2、3時間連続で汲み上げても途切れないほど水量は豊富です。手作りの掘削機を使い人力で行う作業なので、地質によって1時間で5cm位しか掘れないこともありましたが根気で乗り切りました。

災害時に想定できる課題は、ひとつでも解消できるように、住民の協力を得ながら今後も取り組んでいきたいと思っています。  
新柏三丁目防災会 志水 房夫



手作りの手動ポンプで水を汲み上げる志水委員長

## ボランティア募集中

障がい者福祉施設で、毎月第2・第4水曜日、午前9時30分から12時まで、簡単な作業(園芸、手芸他)のお手伝いをしてくださる方を募集中。

地区社協部 田嶋(TEL 7172-4683)まで、お問い合わせください。

## 加賀町会50周年

昭和、平成を経て令和元年に、加賀町会は設立50周年を迎えました。多くの方々が、さまざまな活動を懸命に行ってきた歴史の重みに強い感動を覚えます。

令和元年 9月22日(日)、加賀ふるさと会館において、秋山浩保柏市長はじめ多くの来賓の方々をお招きして、50周年式典を行いました。また、ほのぼのプラザでは「50年の歩み」の写真展を開催。記念行事として、昨年5月より「医療講座」「マジックショー」「おやじバンド演奏会」などを行い大好評でした。



加賀町会 四方 元一

見応えある50年間の写真

## 中原中学校避難所 運営委員会が始動

中原中学校避難所運営委員会は、昨年度、増尾地域では5番目に設立されました。

関係団体としては、全住民が避難対象となるサンパセオ新柏自主防災組織、新柏二丁目第二自治会、新柏住宅自治会が幹事団体として活動の母体となります。そして一部住民が避難対象となる加賀町会、名戸ヶ谷町会、東豊住町会、施設側の中原中学校と障がい者避難施設となる「社会福祉法人ぶるーむ」が委員として参加します。

活動内容としては、平時は年2回運営委員会を開き情報交換と連絡体制の確立を図るとともに防災訓練などを行っていくことにしました。10月26日(土)には、「避難所運営ゲーム(HUG)」を柏市防災安全課のご協力を得て実施しました。当日は22名の参加があり、避難所でのさまざまな出来事にどう対応していくかなどをカード形式で模擬体験することができました。

新柏エリアは比較的新しい住宅地であり、近隣の町・自治会と連絡が進んでいませんでしたが、今後は地域の連携を図り、防災活動を強化していきたいと思っています。

中原中学校避難所運営委員会 正木 秀明

## ふるさと協議会からのお知らせ

令和2年1月26日(日) 新春囲碁将棋大会

令和2年2月1日(土) 救急救命講習会

令和2年3月1日(日) 芸能発表大会

※詳細は回覧、チラシなどでお知らせします。